

■ ■ 留学だより No.6(1月) ■ ■

こんにちは。4年の戸塚です。早くもすでに2022年になってから1か月が過ぎましたが、私は未だに2021年の気分です。そしてアイルランドに来てから5か月が経ち、留学も折り返し地点を迎えました。嬉しいような悲しいような…。

今月は先月号でお伝えしたように「冬休みにしたこと・後編」をお届けします。実は、冬休みの後半(12/28~1/4)にかけてイギリスに行き、同じく4年の大野さんのホストファミリーの家に滞在させてもらいました！！初めて1人で飛行機に乗り、しかもそれが海外だったので、家に着くまでも色々ありました、それも含めて紹介します。

・出発の日(12月28日)



家を朝6時半頃に出発し、バスを乗り継ぎながら4時間ほどかけて首都ダブリンにあるダブリン空港に到着しました。着いたとはいえ、最初に何をすべきなのかわからず、5分に1回ペースで職員の方に質問しました。飛行機のチケットをかざす場所にずっとパスポートをかざして待っていたときには職員の方に優しく微笑まれました(笑)。飛行機の中はがらがらで私の横一列のシートには他に誰も座っていませんでした。約1時間のフライトを終えたあとの空港では入国審査などは一切なく、そのまま出口に向かうことができました。実は、アイルランドからイギリス(正確にはウェールズ)への入国は他の国からに比べて簡単です。ウェールズの政府機関がアイルランドからの入国にはPCR検査などの陰性証明書を義務付けていないからです。そこからさらにバスと電車2本を乗り継いで4時間ほどかけて目的の駅に到着しました。途中の電車の中で寝てしまい、知らない方に終点で起こされるというハプニングもありましたが、予定通り着くことができました。この日一日でたくさんの知らない方にわからないことを聞いて、最初は話しかけるだけで緊張しましたが、自分の英語だけで旅ができていると思うと、とても嬉しかったです。

・ 年末年始



というわけで、年末年始は大野さんと一緒に過ごしたので、私の留学日よりでは詳しいことは割愛しますが、大野さんのホストファミリーはスペインで暮らしていた経験があることから、2022年を迎えたときはみんなで12個のブドウを鐘に合わせて食べました。思っていたより間隔が短く、ブドウを味わう暇はありませんでした(笑)。

またこの日の夜に庭で花火をしたのですが、私のホストマザーによるとアイルランドでは花火が打ち上がり、家からそれを見たそうです。しかし、ひっそりとしていたと言っていたので、恐らく日本の花火大会のような感じではないと思います。

・ ビーチに行きました！



2回ほどビーチにも連れて行っていただきました。私が住んでいるゴールウェイも海辺の街なのですが、イギリスで行ったところは周りにたくさんの興味深い地形が残っていて、地学の先生が好きそうだね、と話していました(笑)。

・帰りの日

帰りのイギリスからアイルランドへの入国は行きとは異なり、空港で入国審査があったり、陰性証明書が必要だったりしました。航空運賃自体は本当に安く、空港までの電車やバス、PCRにかかるお金の方が圧倒的に高かったです(笑)。

・まとめ

今回の旅行は計画から実行まで全て自分たちで行ってとても楽しみにしていたので、日々変化するコロナの状況下で実現できて本当に良かったです。違うホストファミリーの生活スタイル、イギリスや大野さんのトリプルプレイスメントの留学生の国であるスイスやノルウェーのことも知り、色々な新発見があった充実した1週間でした。あまり知らない国の人たちとの素敵な出会いを体験することができました。

また私はヨーロッパの国はアイルランドが初めてで、留学中に他の国に行くことが1つの夢でもあったので、今回は私にとって貴重な機会となりました。

ところで、大野さんと日本語と英語のどちらで話していたのか気になった方もいるかもしれませんが、ほぼ英語でした！ただネイティブの人と話すときとは違って、わからない単語は日本語で言えるというのはすごく楽でしたが…(笑)。お互いの今の時点での英語力の上達を知ることができて、とても刺激を受けることができました。

以前に、私の学校には他に留学生がいないと書いたのですが、冬休み明けから私の学校に新しく4人の留学生が加わりました！イタリア、ジョージア、スペイン、スイスからで、私も含めてみんな国が違っていたので、これから他の国のこともたくさん知ることができたらいいなと思っています。

さて、今回はかなりサプライズな内容となりましたが、イギリスへの旅行についてお伝えしました。来月の終わりにはまた1週間のお休みがあり、今、その計画を立てている最中です。来月号もお楽しみに！

今月も最後まで読んでいただきありがとうございました。

戸塚